

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

祝 竹生島宝蔵寺開創1300年!

記念の年に、新企画の「湖北百景-風雅の竹生島」では「竹生島」尽くしの公演を開催します。

今年も「芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル」の季節がやってきます。当館のイベントホール内に芝居小屋を建て込み、様々な公演を行う一週間。どうぞこの特別な機会をお見逃しなく。

浴衣特典

浴衣でご来場
いただいた方には
記念品を
プレゼント!



チケット
お申込は
こちら➡

夏のフェスティバル ラインアップ

7/27土~8/4日

1 こほくひゃっけい ふうが ちくぶしま 「湖北百景-風雅の竹生島」



7月27日土・28日日
14:00開演

料金 一般3,500円
青少年(24歳以下)2,000円
※6歳以上入場可 全席指定

プログラム

司会:塩見泰子(気象予報士)、小林昌廣

- (オープニング) 滋賀邦舞連盟による舞「花を恋い」
(出演)音羽菊寿美、吉川智子、富岡あも、深坂碧子
- (第一部) 古典落語「青菜」(27日)・「化け物つかい」(28日)
(出演)桂吉坊
- 地唄舞「竹生島」
(出演)山村友五郎、山村若、山村侑
三味線:菊史雄司
- (第二部) 新作落語「竹生島」
(出演)桂吉坊
- 常磐津「竹生島」【新振付】
(出演)山村友五郎、山村若、山村侑
浄瑠璃:常磐津巴瑠幸太夫、常磐津三代太夫
常磐津若音太夫
三味線:常磐津小欣矢、常磐津都史
上調子:常磐津小東矢
囃子:望月太明一郎、望月太八一朗、藤舎悦芳、望月善之
笛:藤舎伝生

今年、竹生島宝蔵寺開創1300年という特別な年。724年、聖武天皇が夢枕でお告げを受け、僧行基を勅使としてつかわし、堂塔を開基させたのが始まりのこと。この記念を祝し、日本舞踊の舞比べと、新旧落語聴き比べを堪能できる「竹生島」尽くしの公演を行います。出演は、山村流六世宗家の山村友五郎、第18回繁昌亭大賞等を受賞して益々勢いにのる桂吉坊。そして、総合会社にはテレビでお馴染みの塩見泰子気象予報士が登場!

近江のあたらしい伝統産業展

7月27日土・28日日 各日12:30開始

「湖北百景-風雅の竹生島」の期間中ロビーにて、湖北地域をはじめとする滋賀の伝統的工芸品や特産品等の展示、販売を行い、公演を盛り上げます。

竹生島へ行きませんか?

7月25日木~8月4日日

右記の期間中、長浜港または彦根港で竹生島への乗船券を購入される際、窓口で「湖北百景-風雅の竹生島」の入場券を提示いただきますと、入場券一枚につきお一人様、乗船料の20%を割引させていただきます。(使用済入場券でも可)

- 〈長浜港➡竹生島〉
(中学生以上)3,400円➡2,720円 (小学生)1,700円➡1,360円
- 〈彦根港➡竹生島〉
(中学生以上)3,200円➡2,560円 (小学生)1,600円➡1,280円



2 「津軽三味線と民謡の世界II」

8月3日土 14:00開演

全国各地で演奏活動しながら古典芸能をはじめ様々な音楽ジャンルに挑戦し、幅広い層から支持を集める駒田早代。当館で4年続けての出演となる今年は、師匠である松田隆行を特別ゲストに迎えて、さらに充実した内容でお届けします。

料金 一般3,000円 青少年(24歳以下)1,500円 全席指定
※6歳以上入場可

5月24日金「湖北百景-風雅の竹生島」の制作発表を行いました



(左より) 竹村憲男(館長)、小林昌廣(監修、演出)、深坂碧子(出演)、山村友五郎(企画、出演)、桂吉坊(出演)

長栄座をさらに楽しむプレ企画 7月7日日 参加無料(要申込)

会場 滋賀県立文化産業交流会館 第1会議室
「湖北百景-風雅の竹生島」の演出を担当する小林昌廣と、同公演で「竹生島」の舞比べを披露するだけでなく企画構成も担当する山村友五郎による、豪華対談企画決定!企画意図や裏話も飛び出すユーモア満載のトークをお見逃しなく!
講師:小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)
ゲスト講師:山村友五郎(山村流六世宗家)



お申込フォーム 小林昌廣



北の近江振興プロジェクト

北にきやんせ音楽会、始動!

「県内外の方に、滋賀県北部の魅力を知らせてあげたい」との思いから、滋賀県と協力して行う新企画がスタートしています。当館の「邦楽専門実演家養成事業」を経たメンバーで結成される滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」が、県北部の各地を訪ね、豊かな自然や歴史・文化遺産などの特性を活かしたミニコンサートやワークショップを5月から実施しています。9月の小劇場公演では、古典から初演の新作まで、箏曲の多彩な楽曲を披露します。

1 地域プログラム・米原 「青岸寺六湛庵コンサート」

5月26日(日) 14:00(既に終了) 青岸寺(米原市米原699)

新緑眩しい青岸寺の枯山水庭園を臨みながらの、吉澤延隆(箏奏者)と小川奈都子(滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」)による箏曲コンサート。米原在住の日本画家で植物などの生命の移ろいを表現する西川礼華の作品も展示し、それに触発された楽曲や箏の二重奏などを披露しました。「北にきやんせ(北にいらっしやい)」という当館の想いが通じたのか、県内外から多くのお客様にご来場いただきました。



青岸寺の庭園

2 地域プログラム・長浜 「チャレンジ! 和楽器を弾いてみよう!」

日時 7月6日(土)1回目/11:55 2回目/13:55
会場 ヤンマーミュージアム(長浜市三和町6-50)
定員 各10名 お問合せ・申込 TEL.0749-52-5111

ヤンマーミュージアムは、チャレンジ精神で新しい未来を切り拓いてきた創業者・山岡孫吉の意思を体現した「チャレンジミュージアム」。その場所で和楽器の演奏にチャレンジすることで、子どもたちに新しい発見をしてもらいたいという思いで開催します。



ワークショップのイメージ

3 北の近江振興プロジェクト 「北にきやんせ音楽会」

オーケストラ、室内楽、合唱、独奏曲、映画音楽など広範にわたり作曲活動を行う山本和智作曲の新曲「El Norte」を初披露します。湖北の木之本町が和楽器の産地であることにちなみ、小劇場に弦を張りめぐらせる演出の演奏にもご期待!
日時 9月21日(土) 14:00開演
会場 滋賀県立文化産業交流会館小劇場
出演 滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」
片岡リサ(邦楽専門実演家養成事業 講師)
吉澤延隆(邦楽専門実演家養成事業 講師)
整理券配布 7月20日(土)開始 TEL.0749-52-5111



山本和智 ©Jörgen Axehall

びわ湖・アーティスト・みんぐる どうぶつおんがくたい x C³(シーキューブ) ~0歳からのどうぶつ音楽会~

動物をテーマにしたいろいろな音楽を、ちょっとおしゃれでカッコいいアレンジとダンスでお届けします! 泣いたり騒いだりしてもOK、一緒に踊ってOK、演奏中の出入り自由! 子どもから大人まで楽しめる1時間の濃くて短いプログラム。

日時 8月10日(土) 13:00開演
会場 びわ湖ホールリハーサル室
出演 どうぶつおんがくたい、リトランドオケ弦楽四重奏団
料金 500円 ※2歳以下無料 要申込
お問合せ・申込 地域創造部 TEL.077-523-7146



音楽と絵画でつづるおうみの民話vol.1 イベント「伊吹山と神のささやき」

県内の作曲家×演奏家×美術家×地元高校生、ジャンルを超えて様々なアーティストたちが「民話」でつながる演奏会、ライブペインティング、ワークショップを開催します。10月27日の本公演と合わせてお楽しみください。

【プレコンサート】

日時 9月8日(日) 14:00開演
会場 伊吹草の里文化センター・ジョイホール
出演 鈴木麻琴(ソプラノ)、小林千晶(フルート)、榎山さやか(ピアノ)
料金 一般1,000円 24歳以下500円 全席自由 チケット発売 7月27日(土)



鈴木麻琴 小林千晶 榎山さやか

【ライブペインティング】

日時 9月7日(土)~8日(日) 時間未定 出演 西川礼華(日本画家)
会場 伊吹草の里文化センターホワイエ 観覧無料

【ワークショップ(若絵具に触れよう)】

日時 8月3日(土) 10:30/13:30 講師 西川礼華(日本画家)
会場 伊吹草の里文化センター工芸室 参加費 500円(材料代を含む) 西川礼華
対象 小・中学生(10名x2回)
お問合せ・申込 伊吹草の里文化センター(米原市春照37) TEL.0749-58-0105

Puppet Festival 2024~人形劇がはじまるよ!~ 「オズのまほうつかい」

長浜文化芸術会館をまるごと使って人形劇フェスティバルを開催します。人形劇団むすび座の大人気演目「オズのまほうつかい」をはじめ、地域団体の人形劇やおはなし会、人形作りワークショップで1日楽しみましょう。

日時 9月29日(日) 10:00~ 会場 長浜市文化芸術会館
出演 人形劇団むすび座
協力 子ども劇場推進会議、児童文化活動グループすずめの学校、長浜おやこ劇場、長浜市立長浜図書館
料金 ●人形劇団むすび座公演 一般2,800円 24歳以下2,000円 全席指定
※2歳以下無料(座席が必要な場合有料) チケット発売:7月6日(土)
●地域団体の人形劇公演 500円
おはなし会と人形作りワークショップは無料

お問合せ・申込 長浜市文化芸術会館(長浜市大島町37) TEL.0749-63-7400

季刊誌 湖国と文化 第188・夏号 特集 われも湖の子

日本の国土の表面にある淡水の3分の1を抱く琵琶湖。湖国のすべての生命は水を通じてつながる「湖(うみ)の子」です。「琵琶湖の深呼吸」の不全、湖底生物の減少……、湖が直面する厳しさとともに、環境学習船「うみのこ」や「びわ湖トラスト」、若い漁師の活動など、琵琶湖の未来をつくる様々な取り組みを紹介。中高大学生による湖の研究も登場します。「坂本城跡石垣発掘」や「湖北の火花陣屋」など、多彩な話題満載です。

7月1日発売予定
＜販売価格＞ 660円
＜取り扱い＞ 県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
＜お問合せ・購入申込＞ びわ湖芸術文化財団 地域創造部「湖国と文化」編集室 (077-523-7146)



「湖国と文化」188号